



園だより 6月

令和8年5月29日

千代田区立麴町幼稚園

園長 田村 砂弥香

子どもらしい時間を、子どもらしく過ごすということ

園長 田村 砂弥香

新緑が深まり、園庭の木々がやわらかな影を落とす季節になりました。

子どもたちはすっかり園での生活に親しみ、のびのびと活動しています。朝の支度を終えると、思い思いの遊びに向かっています。友達とおしゃべりする子、テラスで虫を探してじっと地面を見つめる子、待ちきれないとばかりに昨日の遊びの続きを始める子…そのどれもが、その子らしい「今」の姿であり、かけがえのない成長の瞬間です。

「クマのプーさん」シリーズや「ピーターラビット」シリーズの翻訳を手掛け、自身も「ノンちゃん雲に乗る」など多くの童話を著作した児童文学者・石井桃子さんは、「子どもは子どもらしい時間を、子どもらしく過ごせばそれでよい」と語りました。この言葉は、私たち大人に「急かさないう勇氣」を思い出させてくれます。子どもたちが活動する姿は、大人の目から見ると全く効率的ではありません。「こうすればいいのに」とやきもきして、手を貸したくなることもあるかもしれません。しかし、出会うもの全てが新鮮で興味深く、驚きや楽しさをもって存分に味わえるのは子どもたちの特権でもあります。子どもたちは、比べられなくても、評価されなくても、自分のペースで確かに育っていきます。幼稚園では一人一人の自然な歩みを尊重して、子どもたちが安心して挑戦し、失敗し、また立ち上げられる環境を整えていきたいと思ひます。石井桃子さんは、「子どもたちよ 子ども時代を しっかりと たのしんでください。おとなになってから 老人になってから あなたを支えてくれるのは 子ども時代の『あなた』です。」という言葉も遺しています。かけがえのない子ども時代に、一人一人の人生の礎となるような豊かな遊びや経験を積み重ねていきたいですね。



そら組
稲の土づくり



やま組
葉を使った色水



はな組 水を使った
砂場での遊び

さて、もうすぐ「山王祭」が行われます。「山王祭」の歴史は古く、江戸時代には、歴代の将軍が江戸城内にお神輿を迎え入れる「天下祭」として盛大をきわめました。今年は二年に一度の「本祭り」に当たり、6月12日には、平安時代の装束をまとった500名の行列が都心を練り歩く「神幸祭」が開催されます。麴町幼稚園では、麴町小学校の子どもたちと一緒に新宿通り沿いに出向いて、みんなで行列を見物します。13日・14日には、各町会のお神輿が街を練り歩きます。ご家族で参加されてみてはいかがでしょうか。

これから迎える梅雨の季節は、室内での遊びが増える時期でもあります。雨の日ならではの楽しさを見つけながら、子どもたちが心地よく過ごせるよう、環境づくりを進めてまいります。ご家庭でも、子ども